

令和7年度「行きたい学校づくり」推進事業 探究学習推進
第1回沼駿地区探究学習推進コンソーシアム構築準備会

日 時 令和7年10月27日(月) 午後1時30分から4時30分まで
場 所 静岡県立沼津西高等学校 会議室

次 第

1 拠点校校長挨拶 静岡県立沼津西高等学校長 鈴木康之 13:30～

2 高校教育課からの説明 指導1班 教育主査 遠藤圭一 様 13:35～

3 拠点校の計画の説明等 13:40～

(1) 沼駿地区コンソーシアム構築案 拠点校

(3) 質疑応答

4 先進事例の紹介 14:30～

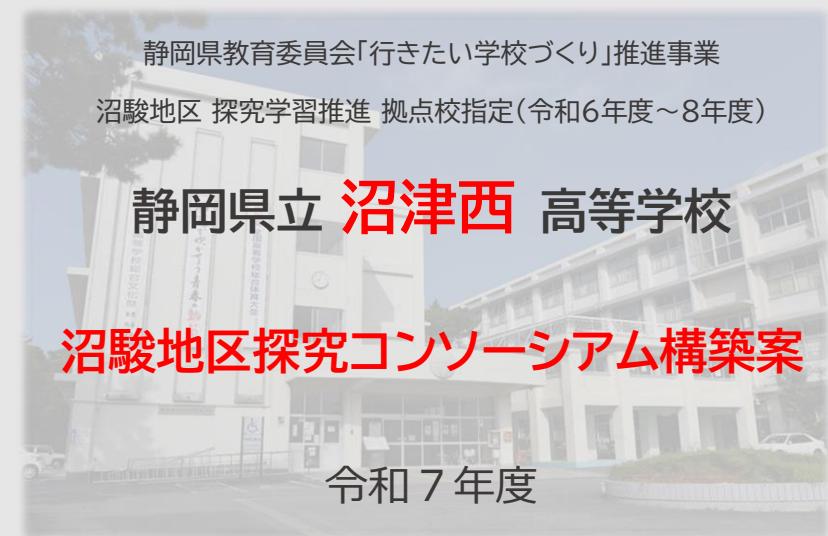
(1) 山形県 新庄最上ジモト大学コンソーシアム

(2) 島根県 浜田教育魅力化コンソーシアム

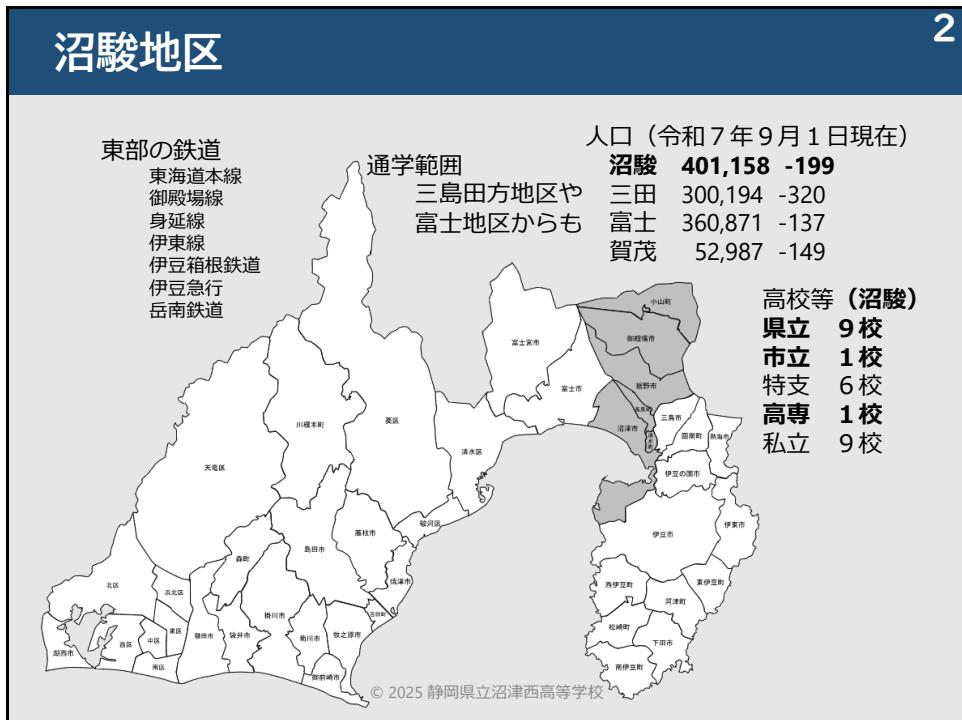
5 情報交換 15:30～

6 今後の予定

7 その他



© 2025 静岡県立沼津西高等学校



研究事業名

3

県内全地区における
探究コンソーシアムの構築

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

3

テーマ(沼駿地区)

4

探究学習推進

探究学習推進によって各校のスクール・ミッション、
スクール・ポリシーを実現する



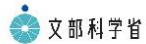
行きたい学校づくり

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

4

3

2



令和7年10月15日
教育課程部会
生活総合教育実践問題
ワーキンググループ
第1回

総合的な学習・探究の時間に関する 現状・課題と検討事項

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

?

対話・知識・思考



!

探究のプロセス

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

ねらい(沼駿地区)

7

- ① 探究的な学習手法の沼駿地区全校での実践による主体的に学ぶ力の育成
- ② 探究に係る地域資源の有効活用
- ③ 探究学習によって地域貢献できる人材を育成し、地域活性化に寄与
- ④ 大学入試(総合型選抜等)への対応

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

7

ゴールイメージ

8

- ① 全地区におけるコンソーシアム構築
- ② コンソーシアムを通じ、地域資源を有効活用した3年間の指導計画と教材の完成

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

8

5

4

コンソーシアム構築行程

9

1 指定事業期間(令和6～8年度)

- (1) 探究研究協議会(高校)
- (2) 探究研究協議会(高校+地域等)
- (3) 指定事業後の準備

2 指定事業後(令和9年度以降)

自走するための仕組み(組織、事業、予算等)
が必要 → 先進地域を参考

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

9

14

先進地域参考例

1 山形県最上地方

新庄・最上ジモト大学コンソーシアム
→ コンソーシアムの仕組み

2 島根県浜田市

HAMADA魅力化コンソーシアム
→ コーディネーターの活用

3 静岡県内

ふじのくに地域・大学コンソーシアム
→ 県内の自治体等との関り方

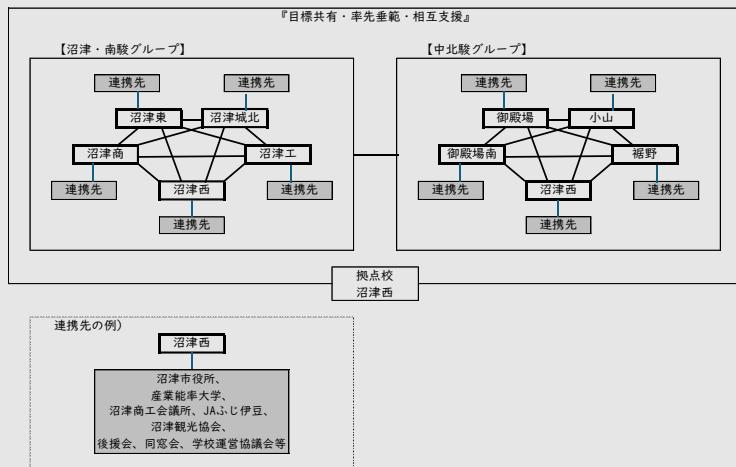
© 2025 静岡県立沼津西高等学校

14

コンソーシアム案 1.0 (高校のみ)

「行きたい学校づくり」推進事業

「探究学習推進」のための沼駿地区県立高等学校コンソーシアム1.0 (案)



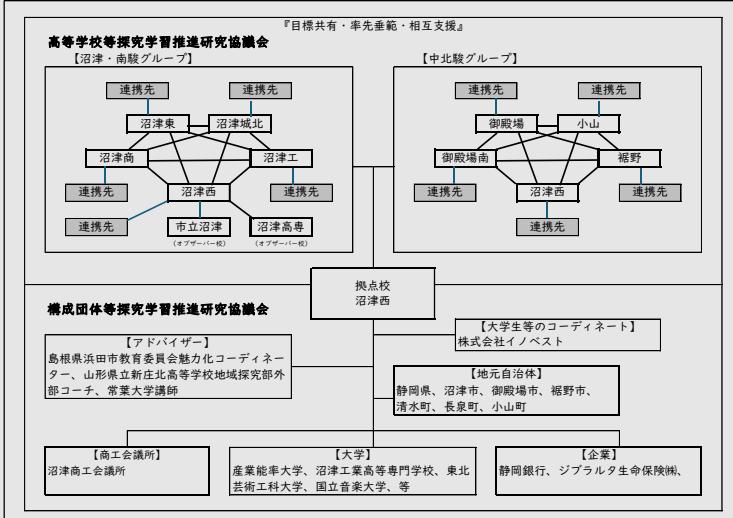
© 2025 静岡県立沼津西高等学校

17

コンソーシアム案 2.4 (高校+地域等)

静岡県教育委員会「行きたい学校づくり」推進事業（令和6年度～8年度）

沼駿地区公立高等学校探究学習推進コンソーシアム2.4 (案)



© 2025 静岡県立沼津西高等学校

18

目標共有

研究事業、テーマ、ねらい、ゴールイメージを押さえ続ける

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

1 「行きたい学校づくり」推進事業

本事業は令和6年5月に策定した「静岡県立高等学校の在り方に関する基本計画」における「学びの変革」等の具現化のための実行計画として「実行推進」等の4つの項目を設定し、実施する。

（研究実行）の概要

◎目的…生徒の主体的学習意識を喚起する探究学習及び県内全ての県立高等学校が、連携して探究学習に取り組む体制を実現し、多様な学びニーズ、進路希望等に対応した学びの実現することを目的とする。

◎ねらい…探究的学習手帳の実践による主体的に学ぶよの育成、探究する場で地域資源の有効活用、大学入試（総合型選抜等）への対応・ゴルム＝イメージ…全国区におけるコソーシアム構築、コソーシアムを通じ地域資源を有効活用した3年間の指導指導と教材の充成

◎実施…県立高等学校の実施・連携・御殿場、御殿場南、小山、裾野、沼津東、沼津城北、沼津工業、沼津商業、沼津工業高等専門学校、由比高等専門学校

3. 実験地図の検索機能の改良

1 授点校の計画（令和6～8年度）（詳細別紙）
(1) テーマ～探究学習推進により各校のスクール・ミッション・スクール・ボリシーを実現
(2) わねい～探究的なる学習手法を沼津地区全校で実践による主体的学力の育成～探究実習によって地域資源への有効活用～探究学習によって地域貢献できる人材を育成～地域活性化に寄与
●大学入試（共通問題）の対応
* 水野の「ゆふながはる」(学習研究版)

3 背景

「沼津地区グランドデザイン」（令和6年7月 【学びの発展のため】）

■多様で専門的・先進的な学びの展開 ■学びの変革に向けた環境整備

【地域との連携のあり方】から
■全ての公立高校における地元自治体や地域産業界との連携強化

- 地域と連携した探究学習・職業観の育成・キャリア教育の推進、地域産業の担い手育成
- 多様な経験を踏まえた人間形成の機会の提供
- 市街地の再開発や駅の高架化など、沼津地区のまちづくりに貢献する

の将来等について考える機会の提供 ●学校と地域や企業とをつなぐコーディネート人材の育成
【教育基盤のあり方】

- グランドデザイン実現に向けた最適な方策の検討
- 学校・学科間で連携した学びの推進（遠隔教育の適用）
- 未来を目指した専学系高校
- 構断的な学びでの普通科高校

教育の活用) ■木本を元踏みに美子木高枝 ■横田的み子ひづき昌枝

4 島立高等学校における探究学習推進の主な課題

高等学校における探究推進の主な課題

1 外部講師とコーディネーター

- (1) 探究の中心に高校の教員だけでなく地域の人材による指導が求められる
 - (2) 信頼できる外部講師を毎年開拓するのは労力がかかる
 - (3) 探究の外部講師のコーディネートの人材が学校には不足しているので活用や育成が必要
 - (4) 連携校や拠点校の外部講師への報償費が探究の費用の中で5割から3割を占める

5 アドバイザーによる助言

アドバイザーによる助言（東京大学地域創生学部教授・浦崎大郎氏）（当時）

問題別解コラム

- 6 課題の解決策

 - 1 行政の予算でコンソーシアムを運営し、民間から資金が集まる仕組みを作る
 - 2 ワンストップ窓口を設置し、実務を担当するコーディネーターの配置する
 - 3 行政、民間が開催する探究学習プログラムと生徒の希望する探究プログラムを間接する

二、理解二项分布、伯努利二项分布的参数

- ① **コミュニケーションの創造**：（ア）エリヤ・コムニティ（居住している地域での人々の繋がり）　（乙）テーマ・コムニティ（街づくりに関わる教育、医療、産業、文化芸術等に関わる人々の繋がり）　（丙）豊洲地区高等学校コムニティ（豊洲地区の高校生に開かれる人々の繋がり）が新たに創造される。**地域・社会性との連携**

② **イノベーションの発生**：地域の様々な資源をコソーシアムに創造的に導入し、教育がより質の高いものにイノベーションされる。**教育・産業の連携**

③ **アートプレナーシップの育成**：このようなコソーシアムにおいて研究により、コムニティに新たな価値を創造するアートプレナーナーなど様々な学びを実現する。**学びの変革**

10 of 10 | Page | [Report a Problem](#) | [Feedback](#) | [Help](#) | [About](#) | [Contact Us](#) | [Privacy Policy](#) | [Terms of Use](#) | [Sitemap](#)

22

- ① 講師等として参加(リーコンショツフ、フィードバック等)
 - ② 講師等のコーディネート
 - ③ 探究のプログラムを提供

コーディネーターの配置、育成、活用

23



23

地域資源の有効活用例 2

24

【探究研究協議会で協働】(新規)

- ① 各校や各団体と既存の企画等の共有
- ② 探究に係る情報共有、課題共有
- ③ コンソーシアムとして行うプログラムの提供(夏休み探究経験講座等)
- ④ 各校へクライアントとして探究課題への解決策の依頼 → 地域貢献
- ⑤ 合同発表会の開催

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

24

令和7年度「小学生職場体験講座」



© 2025 静岡県立沼津西高等学校

25

3年間の指導計画と教材例

- ① 沼津西高校がモデルとなる2年間の指導計画を作成
- ② 各高校がコンソーシアムを活用した指導計画(シラバス)を作成
- ③ 静岡県経済産業部の夏休み体験講座を利用
- ④ 教材の共有

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

26

率先垂範と相互支援

27

共有した目標を達成するために、各校・各団体で強みを生かして率先垂範し、課題を抱えている場合は相互に支援しあう

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

27

「学習する学校」

28

学習する学校

マサチューセッツ工科大学のピーター・M・センゲが提唱した概念である「学習する組織」の考え方を学校教育に応用したもので、教員、生徒、保護者、地域社会が一体となって学び、学校全体が組織として成長することを目指します。

学習する学校のポイント

教員間の学び合い: 教員が互いの授業を見学したり、対話したりすることで、指導法や課題解決策を共有し、実践力を高めます。

生徒の主体的な学び: 教員や大人から教えられるだけではなく、生徒自身が探究し、協働しながら学ぶ姿勢を育みます。

地域との連携: 学校が地域社会の一員として、保護者や地域住民と積極的に関わり、教育の質向上に結びつけます。

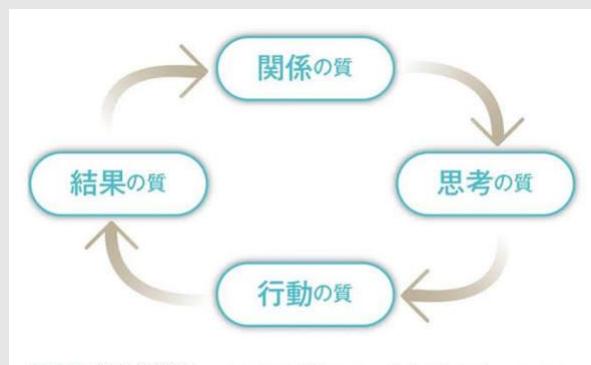
© 2025 静岡県立沼津西高等学校

28

「成功の循環サイクル」(システム思考)

29

「成功の循環モデル」とは、マサチューセッツ工科大学のダニエル・キム教授が提唱した、組織が持続的に成果を上げ続けるためのフレームワークです。4つの要素が相互に影響し合い、好循環（グッドサイクル）または悪循環（バッドサイクル）を生み出すと考えられています。



●図1 成功の循環 MIT組織学習センター協働創始者ダニエル・キム

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

29

沼津西高校の4つの「C」

30

- 1 **Change !** 変化
- 2 **Communication !** 対話
- 3 **Collaboration !** 協働
- 4 **Challenge !** 挑戦

© 2025 静岡県立沼津西高等学校

30

**「行きたい学校づくり」推進事業 沼駿地区
令和7年度事業計画（案）**

期　　日	内　　容	出　席　者	会　　場
6月中旬～	コンソーシアム関係者打合せ	沼津西高校 高校教育課	沼津西高校
6月 16 日	第1回探究研究協議会	沼津西高校、連携校探究担当者・当管理職	沼津西高校
6月中旬～	コンソーシアム構築関係者訪問	沼津西高校 県庁、東部総合庁舎、3市3町	各関係団体
7月上旬～	先進高校、総合型選抜実施国公立大学訪問（予定） 山形県立新庄北高校、山形東高校、筑波大学、京都市立芸術大学、京都市立堀川音楽高校	沼津西高校	山形県、茨城県、京都府等
9月 17 日	第2回探究研究協議会（沼津）	沼津4校	沼津西高校
9月 19 日	第2回探究研究協議会（中北駿）	中北駿東4校 沼津西高校	御殿場南高校
10月 27 日	第1回コンソーシアム構築準備会	コンソーシアム 関係者	沼津西高校
11月 20 日	沼津西高校探究発表会兼合同研究発表会	コンソーシアム 関係者	沼津西高校
2月 2 日	第3回探究研究協議会	コンソーシアム 関係者	沼津西高校

No.	所属	部署	職名	氏名	出欠
1	静岡県 教育委員会	高校教育課 指導第1班	教育主査	遠藤 圭一	
2		沼津西高等学校 (拠点校)	校長	鈴木 康之	
3	静岡県 経済産業部	職業能力開発課 技能振興班	班長	石川 陽一	
4	教育委員会	社会教育課 地域家庭班	教育主査	風間 勉	
5	東部地域局	地域課	次長 兼 地域課長	大畠 英樹	
6	東部地域局	地域課	主事	中村 勇斗	
7	沼津市 教育委員会	生涯学習課	主任	渡邊 真由美	
8	裾野市 環境市民部	自治振興課		持田 瞳乃	×
9	御殿場市 企画戦略部	企画課	課長補佐	川口 聰	
10	清水町 産業観光課	産業振興係	主幹 兼 係長	持田 泰輔	
11	長泉町 企画財政課	企画調整課チーム	主事	古屋 海斗	
12	小山町		理事	鷺巣 春人	
13		教育委員会	教育次長	大庭 和広	
14	静岡銀行 沼津西支店		地域共創戦略担当部長	勾坂 勝哉	
15		沼津西支店	支店長	山本 晴加	
16		沼津西支店	コーポレート担当	古木 凜	
17		沼津西支店	コーポレート担当	鈴木 彩華	
18	ジブラルタ生命保険(株) 静岡支社	静岡第四営業所	営業所長	横田 雄三	
19	静岡支社	静岡第四営業所		武末 力	
20	沼津商工会議所 産業振興部	経営支援課	主事舎 経営指導補助員	八木 韶生	×
21		青年部	会長	杉山 勇太	×
22		御殿場高等学校 (連携校)	教頭	池谷 明治	
23		御殿場南高等学校 (連携校)	副校長	小泉 洋幸	
24		小山高等学校 (連携校)	副校長	小柳出 賢治	
25		裾野高等学校 (連携校)	副校長	大石 友美	
26		沼津東高等学校 (連携校)	副校長	市川 幸子	
27		沼津城北高等学校 (連携校)	教頭	秋永 能宏	×
28		沼津工業高等学校 (連携校)	副校長	土屋 佳彦	
29		沼津商業高等学校 (連携校)	副校長	瀧口 崇	
30		市立沼津高等学校 (オブザーバー校)	副校長	松本 新吾	×
31	独立行政法人国立高等専門学校機構	沼津工業高等専門学校 (オブザーバー校)	副校長 (総務主事)	稻津 晃司	×
32	山形県立新庄北高等学校	(アドバイザー)	地域探究部外部コーチ	坂本 健太郎	Z
33	浜田市教育委員会 教育部	学校教育課地域学校連携係 (アドバイザー)	魅力化コーディネーター	熊谷 修山	Z
34	浜田市教育委員会 教育部	学校教育課地域学校連携係 (アドバイザー)	魅力化コーディネーター	大地本 由佳	Z
35	常葉大学	(アドバイザー)	非常勤講師	望月 良憲	
36		沼津西高等学校 (拠点校事務局)	副校長	平井 剛	
37		沼津西高等学校 (拠点校事務局)	教頭	渡邊 祥雄	
38		沼津西高等学校 (拠点校事務局)	探究推進室長 教諭	平野 雄大	
39		沼津西高等学校 (拠点校事務局)	探究推進室 教諭	大熊 悠斗	
40		沼津西高等学校 (拠点校事務局)	教育主査	望月 和子	